



北足柄小学校学校だより

やま桜

令和元年 10月29日
南足柄市立北足柄小学校
第6号
校長 藤澤 恭子

10月12日(土)から13日(日)に東海・東日本を縦断した台風19号により、各地に甚大な被害がもたらされました。

南足柄市内においても本校学区内においても土砂崩れや河川の氾濫、断水、停電等の被害がありました。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

台風が過ぎた10/13撮影

内川にかかる橋の橋桁(はしげた)には流木や石が大量に引っかかっていました。この橋の上流で内川が決壊しました。



二十四節気の各節気を初候・次候・末候に分けて、一年を約72の期間(およそ5日ずつ)にした暦を七十二候(しちじゅうにこう)といいます。ちょうど今の時期は、二十四節気霜降(そうこう)の次候「雲時施(こさめときどきふる)」にあたる季節となります。小雨どころか最近の雨は、降水量の多さに脅威を感じます。とはいえ、秋は確実に訪れ、一雨ごとに気温が下がってきています。体調管理には十分ご配慮くださいますようお願いいたします。

南足柄市立小学校陸上大会「自分の力を最大限に!!」



10月17日(木)に、南足柄市立小学校陸上大会が総合グラウンドで開催されました。

台風19号の各地の被害が報じられる中、無事に開催することができ、まずそのことに感謝です。

さらに、雨続きの中、児童の安全を配慮して前日準備や当日のグラウンド整備にご尽力くださった大会役員の皆様や、地域関係者の皆様に心より感謝申し上げます。おかげ様で、児童は練習の成果を精一杯、発揮することができました。

10名の6年生は、1000m走、800m走、ソフトボール投げ、走り幅跳び、100m走、50mハードル走、4×100mリレーにエントリーし、およそ1ヵ月半にわたり練習を積み重ねてきました。

前日の10月16日(水)には、3年生が中心となって陸上大会壮行会を開き、全校で6年生を応援しました。6年生は、各種目にかける思いを発表しました。壮行会での姿も、南足柄市立小学校陸上大会での姿もとても頼もしかったです。

当日は、途中から小雨が降り出し、各種目の進行を早めました。閉会式は、大会役員等がグラウンドの中央に整列し、児童席の6校の児童のみなさんと向き合って、最後に互いに感謝と健闘を称えて大きな拍手で終了しました。雨の中、とても感動的な閉会式となりました。保護者の皆様も朝から閉会式まで応援に駆けつけてくださり、子どもたちの大きな励みになりました。終了後のお迎えも、ありがとうございました。

努力を積み重ねたからこそ手にした達成感と充実感。今後の学校生活等に生かしてくれることを期待しています。

4年生 社会科「川と人々の暮らし」 地域に学ぶ先人に学ぶ

4年生は、地域の人々の「安全」や「健康な生活」を守るための関係機関の働きや、そこに従事している人々の工夫や努力について学習してきました。

身近にある酒匂川の治水も「安全」・「健康な生活」に深く関わっています。昔の人たちの苦労や工夫や努力から学ぶことは、「生きる力」につながります。

植田勇次様(箱根ジオパーク推進協議会)は、実際に、春日森土手、岩流瀬土手、大口土手を案内して下さり、子供達の質問を大切にしながら、学習を支援してくださいました。

大井みち先生(足柄の歴史再発見クラブ)からは「みんなは、最近、台風の被害についてテレビ等で見ている、それを根拠に予想したり考えたりしているんだよね。そうやって、根拠をもとに考えていくことはとても大切なことです。」と、学びの極意について教えていただきました。

現代に生きる私たちの真剣に考え学ぶ姿勢が、「先人に学ぶ」ことにつながるのだと思いました。4年生の学習は、さらに続きます。



6年生 総合的な学習の時間 「北足柄の自然と歴史」 地域に学ぶ

6年生は、理科「大地の創造」の学習との関連で「箱根ジオパーク」を通じて「北足柄の自然と歴史」について学んでいます。

南足柄市指導方法改善アドバイザーの中村俊文先生には、酒匂川と洒水の滝・滝沢川との合流付近のフィールドワークに連れて行っていただきました。子供達は、地層から採取された岩石類を実際に触ったり、周りの様子を観察したりしながらスケールの大きな自然の中で学習しました。

さらに中村俊文先生からは「足柄の大地の生い立ち」について興味深いお話をしていただきました。

箱根ジオパーク推進協議会教育部会事務局の市役所企画課の大場様からは「皆さんに、南足柄の事をもっと知っていただきたい。」との思いを込めて箱根ジオパークについて、お話をしていただきました。

箱根ジオパーク推進協議会の植田勇次様は、何度も授業に来ていただき、各自が調べている課題について、一人ひとり丁寧に相談にのっていただいています。



6年生 総合的な学習の時間 「北足柄の自然と歴史」 庚申塔 地域に学ぶ

「平成18年11月21日に、足柄史談会から北足柄小学校に庚申塔のレプリカが寄贈されたこと」が掲載された新聞の記事を紹介しながら、6年生の教室で歴史の授業をさせていただきました。

この庚申塔本体は、内山より関本方面に向かうバス道路を進みトンネルの手前の摺手バス停を左に上りきり、広域農道（苅野～怒田）に出たところの左側にあります。総高1m73cmもあり道案内も兼ねて立ててあります。6本の手の青面金剛と足元の三猿、文字が彫られています。

6年生の子供たちと、庚申信仰と当時の人々の思いや、干支（例：庚申：かのえさる）・和暦・西暦の関係について勉強しました。さらには色々な古文書の抜粋から、和暦・数字・干支・西暦を解読しました。「明治時代に破壊・撤去される庚申塔が多い中、きっと地域の人達に守られたのかな?」「何で、『大山みち』は道がひらがなののか?」「最初は昔の人の字は読めないと思ったけれど、意外と年（和暦・数字・干支・西暦）を読み取るのはおもしろい。」等、感想や疑問をいただきました。疑問にお答えできなかったのは申し訳なかったのですが、疑問があるからこそ庚申塔への興味・関心は続くのです!

どなたか、ご存知の方、いらっしゃいましたら、お教えてください。

「天」は「とし」

宝暦6年丙子
(ひのえね)
は1756年



右 八大山みち
奉造立相州内山村中講
宝暦六子天十一月吉日
國家安全為萬壽也
左 八内山道

「うちやまどう?みち?」「おおやまみち」読み方が違う?

秋晴れのもと 北っ子米 無事収穫! ご協力いただいた皆様に心より感謝! 地域に学ぶ

10月9日(水)、小澤小夜子様にお借りしている田んぼで、全校児童・職員が待ち望んだ稲刈りを行いました。小澤券一様、矢後昇坪様、杉山浅雄様、高橋昭夫様、瀬戸力夫様が段取りをしてくださり、5年生を中心に北っ子米を無事収穫することができました。稲刈りの前に子供達が通りやすいように、草を刈っていただいたり、コンバイン(脱穀等)をご提供いただいたり、籾摺(もみすり～唐臼)をしていただいたり、大変お世話になりました。

当日は、北幼稚園の園児も参加しました。5年生と園児とのやりとりが、とてもほほえましかったです。

11月23日(土)には、北っ子米の販売を予定しています。また、12月10日(火)には、収穫祭を計画しています。



地域の宝 内山剣舞おどり 11月3日(日)13:15(予定)～市民文化祭発表 *地域に学ぶ*

今年も、内山剣舞おどり保存会（会長：矢後昇坪様）の皆様、4年生6名・5年生5名に、ご指導をいただきました。10月21日より5回、学校の体育館で踊りと歌を丁寧に教えていただきました。

鈴木宏江様から、鈴木家の兄妹に伝わった経緯など興味深いお話もいただきました。市民文化祭での子供達の晴れ姿が、楽しみです。



5年生・6年生 三味線に挑戦！

5年生・6年生の音楽の授業で、向田にお住まいの渡部久人様に、三味線をご指導いただいています。夏季休業中に、職員研修でもお世話になりました。



渡部先生の授業では、礼儀や姿勢等のご指導もいただきました。謙虚さや相手への心遣い等、日本文化の素晴らしさも学ばせていただきました。

三味線の発表の機会（時間走記録会の日）を計画していますので是非、おこしく下さい。

お助けNetによる 情報モラル・プログラミング教育

「プログラミング」に対して子供たちは、大変興味・関心をもっています。10月24日（木）、お助けNetの方々にご来校いただき、情報モラルの学習と、プログラミングを体験しながら論理的な思考力を身につけていく授業を行っていただきました。

互いの思考過程を視覚的に共通理解することができるので、思考の整理や修正、発展をみんなで行うことができる大変便利なツールであることを実感しました。そして、実に楽しみながら論理的な思考力を身につけていました。



北足柄小学校は、今年 146 歳！

北足柄小学校は、10月9日が開校記念日です。北小は明治6年に関本にできた化源館（かげんかん）の内山支校がはじまりです。その後校名は何度か変わりました。今年で開校146年になりました。地域の皆さんも多くの方々が卒業生です。今の伝統と校風を築いてくださいました。私達は、それを引継ぎ、よりよい学校にしていきたいと思います。

2学期がスタートしました！ ノーベル化学賞 吉野彰さんの言葉に学ぶ

南足柄市内の小中学校は2学期制のため10月15日（火）より2学期が始まりました。

2学期の始業式では、リチウムイオン電池を開発したとしてノーベル化学賞を受賞された吉野彰（よしのあきら）さんの言葉を紹介しました。

「～は、こういうものだ。」と決め付けずに、その時に応じてアイデアを出せる柔軟性。最後まであきらめないねばり強さ。そのどちらも大切にしながら、

研究者は、**頭はやわらかくないといけない。**
真逆だが、**最後まであきらめない執着心（強いこだわり）も必要。**
柔軟性と執着心のバランスが大切。

学校教育目標「**自分のよさが輝き、自立する子ども**」をめざして2学期も努力していきましょうという話をしました。子どもたちが安心して力を十分発揮できるよう、職員一同努めてまいります。2学期も引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

※ 北足柄小学校ホームページでは、学校便り等をカラーでご覧いただけます。

